



岡田 聡議員

総合戦略の課題は

町長

見直しや改定を行なう



観光客数は増加するか

【岡田】人口減少は、将来的に経済規模の縮小や生活水準の低下を招き、町の存在すら危うくなる。

この状況に直面して、町民と共に困難な課題に取り組むことが重要であり、目標を設定している。

3年経ち評価結果などにに基づき見直すべき課題はないか。

【町長】指摘のとおり見直すべき課題が出てきており、改定に向けた作業を進めている。

【岡田】KPI（重要

事業の目標数）達成の困難なものは、対策は。

【町長】年間観光客入込数、地元・観光客向けサービスの開業件数、出生者数などだ。

災害などの外部要因に左右されるものであり、必要な見直しや改定を行う。

【岡田】いつまでも働きたいという高齢者も多い、アクティブシニア活用施策の検討は。

【教育長】社会に開かれた学校づくりにより、一層活躍できる場を提供していきたい。

先進的な

障がい者施策の実践は

町長

積極的に進めて行きたい

【岡田】障害者基本法、

総合支援法、差別禁止法など、さまざまな法律が施行されている。

鳥取県では、あいサポート条例（愛称）を制定し、誰もが互に人格や個性を尊重し、支え合う共生社会の実現に取り組んでいる。

本町として積極的に進めて行くことが大切であり、小・中学校での教育にも取り入れる必要があると思うがどうか。

【町長】誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて積極的に進めて行く。

【教育長】手話ハンドブックを小・中学校の委員会活動や学習など

で活用している。

また、あいサポート条例の五つの基本的な考え方を、人権学習などに取り入れている。

【岡田】障害を理由とする差別の解消の推進に関する大山町職員対応要領の啓発や遵守は。

【町長】継続的に職員への研修、啓発に努めて行きたい。



誰もが暮らしやすい社会づくりへ